

平成27年3月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330

熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>

# 熊川宿

鯖街道

花いっぱいぞい

おもてなし

— 区民みんなで協力 —

熊川花いっぱい運動  
おもてなし清掃活動

各家庭の玄関先を花で飾り、来訪者を快くお迎えしようと、あすの福井県を創る協会の「あすのまちづくり応援事業」と、嶺南広域行政組合の支援を受けて、熊川区と若狭熊川宿まちづくり特別委員会が共催で「熊川花いっぱい運動」並びに「おもてなし清掃活動」を行いました。

7月12日、熊川児童館横広場でプランターに土をつけてミニひまわりの種をまき、各家庭へ持ち帰りました。

7月27日の社会奉仕には、街道沿いや空き地の草刈り、ゴミ拾い、前川の土砂上げなどが行われ、子どもたちも手伝ってくれて、大変きれいになりました。

これら社会奉仕の他にも、PTA奉仕作業では学校周辺の美化活動、熊川いっぽく時代村に向けては臨時駐車場となる空き地の草刈りや熊川小児童による神社の清掃などが行われています。

またバス停や集会所、公共トイレ、神社などの清掃を区民が常日頃から行い、おもてなしの心が定着しています。

8月24日には、熊川区自主防災デーが行われ、訓練の後、木製プランターカバーを作りました。

そして8月末頃からミニひまわりがきれいに咲き始めました。

2月15日開催の熊川宿まちづくり総集会では、優秀作品の表彰が行われました。

(3ページに詳細記事)

## 目次

花いっぱいでおもてなし	1
研修報告	2
花いっぱい運動事業報告	3
熊川いっぽく時代村報告	4
研修報告・話題	5
活動報告・お知らせ	6



## 全国町並みゼミ 鹿島・嬉野大会

第3分科会パネラーとして出席して

と き：平成26年11月7日(金)8日(土)9日(日)  
と ころ：佐賀県鹿島市・嬉野市

第3分科会「防災とコミュニティ」のパネラーとして出席させていただきました。

7日は呉竹酒造東蔵で全体会が開催されました。

8日は午前中、かつて宿場町として栄えた鹿島市浜町「肥前浜宿」を見学しました。午後は、7つの分科会に分かれて町並みを取り巻く課題に対し論議されました。

第3分科会の趣旨は、古い町並みは、ほとんどが木造家屋で構成され住宅密集地も多く、特に火災や地震等に対する日頃の備えは必要不可欠であることから、町並みの防災整備や防災まちづくりに関して、先進事例の報告を踏まえて考えることで4名のパネラーが様々な角度から報告しました。

私からは、熊川宿のまちづくりの歴史と自主防災会の具体的な活動について20分程度発表し意見交換を行いました。

コーディネーターの後藤先生から熊川の取組みに対して、自主防災会の活動が住民主体でしっか



宮本 哲男

のアクセスは裏からも考え、玄関以外からも避難できるか、消防ホースが裏へ入れるかなどの助言をいただきました。

お隣との間には障害となるものを置かないことや、家屋の改修時には裏まで通れるルートを確保することが必要と感じました。

参加者から質問も沢山ありましたが、どんな活動でも満点を求めず、皆が出来ることを無理なく続けることが大切であることも伝えました。

分科会に参加されていた元文化庁文化財監査官・全国町並み保存連盟副理事長の菊谷先生からも総合コメントをいただいた中で、熊川の取組みに対してたいへんお褒めの言葉をいただきました。

熊川では当たり前のように行っている活動ですが、全国的には自主防災会が自分たちで企画し継続して訓練をしているようなところはあまりないようでした。

り取り組まれていた事を評価いただきました。アドバイスとして、防災のアクセスは裏からも考え、玄関以外からも避難できるか、消防ホースが裏へ入れるかなどの助言をいただきました。

## 第1回 全国自主防災組織リーダー研修会

と き：平成26年11月27日(木)28日(金)  
と ころ：東京・麹町会館

岩本 実

全国47都道府県から各2名、総勢87名の自主防災組織の方々に参加され、私は福井県の代表として、二日目に熊川宿の防災まちづくりの活動内容を発表させていただきました。

今回、二財日本防火・防災協会主催で初めて開催される研修会で、昨年は自然災害が多かった年であり、また長野県での地震直後の事もあり、冒頭の日本消防協会長、総務省消防庁長官のご挨拶でも、「もっと早くこの様な研修会をやっても良かった」とのお話でした。

一日目の講演は、NHK解説主幹山崎さんの「地域の防災力を高める」の演題で、「自然災害の多い時期に入ってきた。自然の力には人間は到底太刀打ちできないので、地域の防災力を高めて、防災から減災へと考え方を変える時代になってきた。小さな事でも防災対策は裏切らないので、災害時には一人でも多く、助けられる側から助ける側に回れるようにすることが減災に繋がる」とのお話でした。

そして、東日本大震災の活動報告として岩手県と宮城県から2組

の代表発表があり、TVでは報道されていない震災時の生々しいお話もありました。

また、総務省消防庁地域防災室長と予防課の講演もあり、自主防災組織の重要性や自助、共助の大切さを学びました。また、「火災報知器の設置義務化により、住宅火災の死者数は減少傾向となっており、益々その効果が期待されている。特に福井県は設置率が90%を超えており全国でもトップである」とのお褒めの言葉を頂きました。

二日目は、活動発表として千葉県県の「ITを活用した実践的自主防災活動」と、私の「みんなで守る歴史の町並み」防災まちづくりの「実践」の活動内容を発表させて頂きました。

その後グループ討議を行い、まとめとして、それぞれの規模に合わせた防災活動を、より多くの人に参加してもらうための工夫をする事や、想定される災害の内容に合わせた防災訓練が大切であると締めくくりました。



あすのまちづくり応援事業

# 熊川花いっぱい運動 おもてなし清掃活動

熊川区・若狭熊川宿まちづくり特別委員会

7月27日(日)

## 社会奉仕デー

区民みんなで、熊川区内の草刈りやゴミ拾い、前川の土砂あげなどの清掃活動を行いました。子どもたちも手伝ってくれて、とてもきれいになりました。



河内川沿いの草刈りをしています。社会奉仕デー以外にも、PTA奉仕作業で学校周辺の清掃をしました。

また、秋のイベント「熊川いっぶく時代村」に向けて、臨時駐車場となる空き地の草刈りをしました。

平成の名水百選  
前川の水も止めて、  
草刈りしてまっせ～

ひまわりの苗を  
配布に行っ  
てきま～あ。



熊川区では、このような当答札を作って、バス停や集会所、公共トイレ、神社などの清掃を常日頃から行っています。

7月12日(土)

## 花の種・プランター配付

プランターに土をつめて、ミニひまわりの種をまいた後、それぞれの家へ持ち帰りました。



おこ～さん、  
きれいに  
咲かせこね♡

8月24日(日)

## 自主防災デー

熊川宿を災害から守るため、防災訓練を行っています。この日は、火災報知器の初動対応と安否確認、上・中・下ノ町対抗で消防ポンプ操法訓練を実施しました。



訓練の後、木製プランターカバーを作りました。

## みんなの協力で

# きれいに咲きました!!

8月末頃から、熊川区内各家の玄関先で、きれいなミニひまわりが咲き始めました。今年は、舞鶴若狭自動車道の全線開通や、熊川宿がテレビで全国放映されたことにより、たくさんのお客様がお見えになっています。今後も続けて、街道を花で飾って、おもてなしの心を感じていただけると幸いです。



熊川の町並み  
を美しくしようと  
「あすのまちづくり応援事業」

下ノ町界隈

2月15日(日)

## まちづくり総集會

優秀作品の表彰が行われ、園芸グッズが贈られました。



一番に  
咲きました!

※この事業は、「あすの福井県を創る協会」の「あすのまちづくり応援事業助成金」と、「福南広域行政組合補助金」を受けて、熊川区と共催で行いました。

# 熊川 いっぷく 時代村

と き：平成26年

**10月5日**

と ころ：鯖街道 熊川宿

(福井県三方上中郡若狭町熊川)

主催：熊川区・熊川いっぷく時代村実行委員会

共催：若狭町

後援：NHK福井放送局・福井新聞社・

FBC・福井テレビ・FM FUKUI・

チャンネルO・MMネット

司会：曾我野家 雅晴



オープニング



駕籠屋

雨折小雨の降るあいにくの天候でしたが、多くの方にお越しいただきました。



山車巡行

五湖レンジャーや立命館の学生も加わって賑やかになりました。



ゆるキャラと山車をひっこ

福井8市町と高島市のゆるキャラたちが勢揃い！子どもたちもおどいの法被で大勢参加しました。



市町観光PR



フードコート



子ども語り部



苦遊び



ミゾアツガみどり



射的：緑日遊び



ブリキの金魚レース

100匹がきれいに整列！午前と午後の2レース行われ、スタンドとともに自分の金魚を追いかけていました。



三味線：二胡体験



バルーンアート



和太鼓(立命館大学サークル)

立命館大学サークル7団体が出演協力、なかでもちんどん屋、和太鼓は街道を盛り歩き、祭りの雰囲気盛り上げてくださいました。魔道、マジック、足もみは目新しさもあって人気を集めていました。



ちんどん屋



魔道



マジック



足もみ

## 話題 TOPIX

## NHK「ひるブラ」生放送

(9月15日・熊川宿内)

NHK福井放送局の大橋アナウンサーと女優の鈴木ちなみさんが、生放送で熊川宿を紹介されました。この放映を機に熊川宿への来訪者が増えています。



## 鯖街道わんぱく駅伝

(9月23日・熊川宿内)

若狭町内の小学校から25チームがエントリー。低学年と高学年の部に分かれてスタートし、家族やチームの熱い声援を受けて元気に走り回りました。

哲教熊川まちなみ芸術祭2014  
佐竹美香展・ワークショップ

(9月23日・体験交流施設 与七)

佐竹美香さんは美浜町出身。この日のワークショップでは、通りがかった子どもたちが参加して、アドバイスを受けながら自由に絵を描いていました。



## 鯖街道交通安全パレード

(9月27日・道の駅 若狭熊川宿)

「思いはひとつ、無事故でつなごう鯖街道」。白バイ隊を先頭に、小浜・高島警察署管内のゆるキャラや参加者が宿内をパレードし交通安全を啓発しました。



## 恩地見佳うたがたり

(10月26日・河内 円成寺)

今回は新ユニット「遊法師」として、今までとはひと味違った斬新な民謡や唱歌を聴くことが出来ました。アンコールではお子さんのかわいい歌声も。



## まちなか活性意見交換会

(11月7日・旧逸見勘兵衛家)

地域産業振興などがご専門で(株)女の代表政所利子氏から、各地の事例を交えながら熊川の活性化についてアドバイスをいただき、食をテーマにいくことが提案されました。



## 関宿重伝建選定30周年記念シンポジウム

と き：平成26年12月13日(土)14日(日)  
と ころ：三重県亀山市・関宿伝建地区

松見 正幸

開会の式辞や祝辞に続き、関宿のまちづくりについて経過報告と功労者表彰がありました。

「伝建保存地区からの応援メッセージ」では、我が熊川宿、長野県の奈良井宿など近隣5地区から参加がありました。熊川宿からは西村区長が代表して「選定の前に大勢で関宿へ伺い町並み保存について研修させていただいた」と御

礼とお祝いを伝えました。

芸能鑑賞では、関の山車

の祭り囃子を鑑賞しました。華やかな大勢の囃子方たちに客席から感嘆のどよめきが上がりました。

続いて記念講演が行われ、文化庁の黒坂調査官が、最近の伝建地区の状況や、「伝建地区に住民が元気で暮らすことが魅力



になり、そのことが地方創生の拠点になる」と話されました。

奈良文化財研究所の林良彦氏は、町職員当時、町並み保存に携わられたことや、修理修景の技術的な解説を講演されました。

夜は関ロジジを会場に祝賀会が開かれ、親睦と交流を深めました。二日目は午前中、語り部の案内で重厚な町家が連立する関宿の町並みを見学しました。

## 地域づくり団体全国研修交流会 三重大会

と き：平成26年11月7日(全)8日(土)9日(日)  
と ころ：三重県津市(全体会)・亀山市(分科会)

松見 忠昭

一日目は、全体会で三重の三団体から事例発表があり、その後、アイデア・行動力・行政との連携など地域づくりのヒントを探りました。夜は前夜祭が行われました。

二日目は、亀山市関宿を見学。町並み保存や伝統文化の継承など官民が協力して進めていると紹介がありました。生活しながらの伝建地区で熊川と似ていますが、家屋も大きく立派で旅館も残っていて、さすが東海道の宿場町だと感じました。

夕食交流会では、各地の方々と交流を深めました。祭り囃子の子どもたちが可愛かったです。三日目は、亀山城と亀山宿を見学。意見交換会では「有るものを大切に活かして欲しい」「空き家対策では最初は手頃な家に住んで、慣れたら立派な家に転居してもらおうと良い」などの意見がありました。皆さん気さくに声を掛けて下さり、楽しく有意義な研修交流会でした。



8/13、15

## 街かど陶の灯り展 H26

(熊川宿街かど陶の灯り展実行委員会)



4年目となる今年は実行委員会を立ち上げて準備を行ってきました。当日は多くの作品が揃い、上ノ町から下ノ町まで区内全域を飾ることができました。幻想的な夏の夜を帰省中の家族連れなどが散策していました。3日目は雨で中止となりました。

8/15

## 納涼盆踊り

(熊川区・熊川宿伝統芸能保存会ほか)



朝からの雨予報により今年は熊川児童館内で行われました。保存会メンバーがてっせん踊りを披露し、流行踊りや熊川音頭に多くの区民が参加していました。軒先では焼そばやかき氷の屋台、スーパードールすくいが行われ、なかでも射的ゲームが子どもたちの人気を集めていました。

10/23

## 文化庁黒坂調査官を囲む会

(小浜西組町並み協議会)



今年是小浜西組で行われ、熊川宿からも参加しました。黒坂調査官から伝建地区の近況などをお聞きした後、懇親会を兼ねて両地区の活動報告を発表しあいました。熊川宿からは先の伝建大会の様子をVTRで鑑賞し、小浜西組からは町家deフェスタなどイベントや日頃の活動の紹介がありました。

10/25

## 荻野家住宅重文指定記念事業

(若狭町歴史文化課)



黒坂調査官による記念講演会が開かれ、荻野家住宅(倉見屋)の調査報告がありました。その後、家主さんや県職員の説明を受けながら、主屋をはじめ通り庭や裏庭、倉の内部など、当時の繁栄を物語る重厚な佇まいを見学しました。

11/22

## 河内川ダム現場見学会

(熊川区ダム対策特別委員会と共催)



初めにダム事務所での工事の進捗状況などの説明を聞きました。その後建設現場を望む高台と川沿いから、係員の説明を聞きながら見学しました。コンクリートを運ぶクレーンは日本一の規模だそうです。熊川からわずか1kmの所でこのような大規模な工事が行われていることに改めて驚きました。

12/28

## 年末夜回り警戒

(熊川区・上中消防団ほか)



年末恒例の夜回り警戒が行われ、冷たい雨の中、消防団員や区民らが上ノ町と下ノ町の端から「火の用心! 心で用心、目で用心!」と呼びかけ、宿内を歩きました。熊川児童館に集結した区民らは、上中消防団の年末夜回り警戒出発式に参列し、訓示を聞きしました。



## 総務省 平成26年度 ふるさとづくり大賞 総務大臣表彰 受賞

熊川宿のまちづくり活動が認められ、総務省の「ふるさとづくり大賞」団体部門に選ばれました。1月31日(土)、熊川宿を代表し、宮本哲男氏が、栃木県宇都宮市で行われた表彰式に出席しました。また活動内容は、(一財)地域活性化センター発行の月刊情報誌「地域づくり」3月号に掲載されました。

## あとがき

近年、台風や豪雨、地震、噴火など全国的に自然災害が多いように感じます。甚大な被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。今年度、熊川で行われた行事やイベントも幾つか雨の影響がありました。7月20日に舞鶴若狭自動車道が全線開通し、またテレビで熊川宿が放映されたこともあって、多くの方が熊川宿を訪れています。熊川区では来訪者を快くお迎えしようと、各家庭の玄関先にミニひまわりを咲かせる花いっぱい運動とおもてなし清掃活動が行われました。

また今年度後半、行事や事業が大変多く、色々な方面に熊川宿から出席しています。行く先々で、5月の伝建協全国大会に参加された方から、熊川のもてなしを大変満足され、お礼を述べておられたと聞きます。節目の第30号となる今号では、研修報告をはじめ数多くの報告や事業を掲載しました。様々な角度から、熊川宿のよりよい暮らしや活性化が進められていることを実感しています。